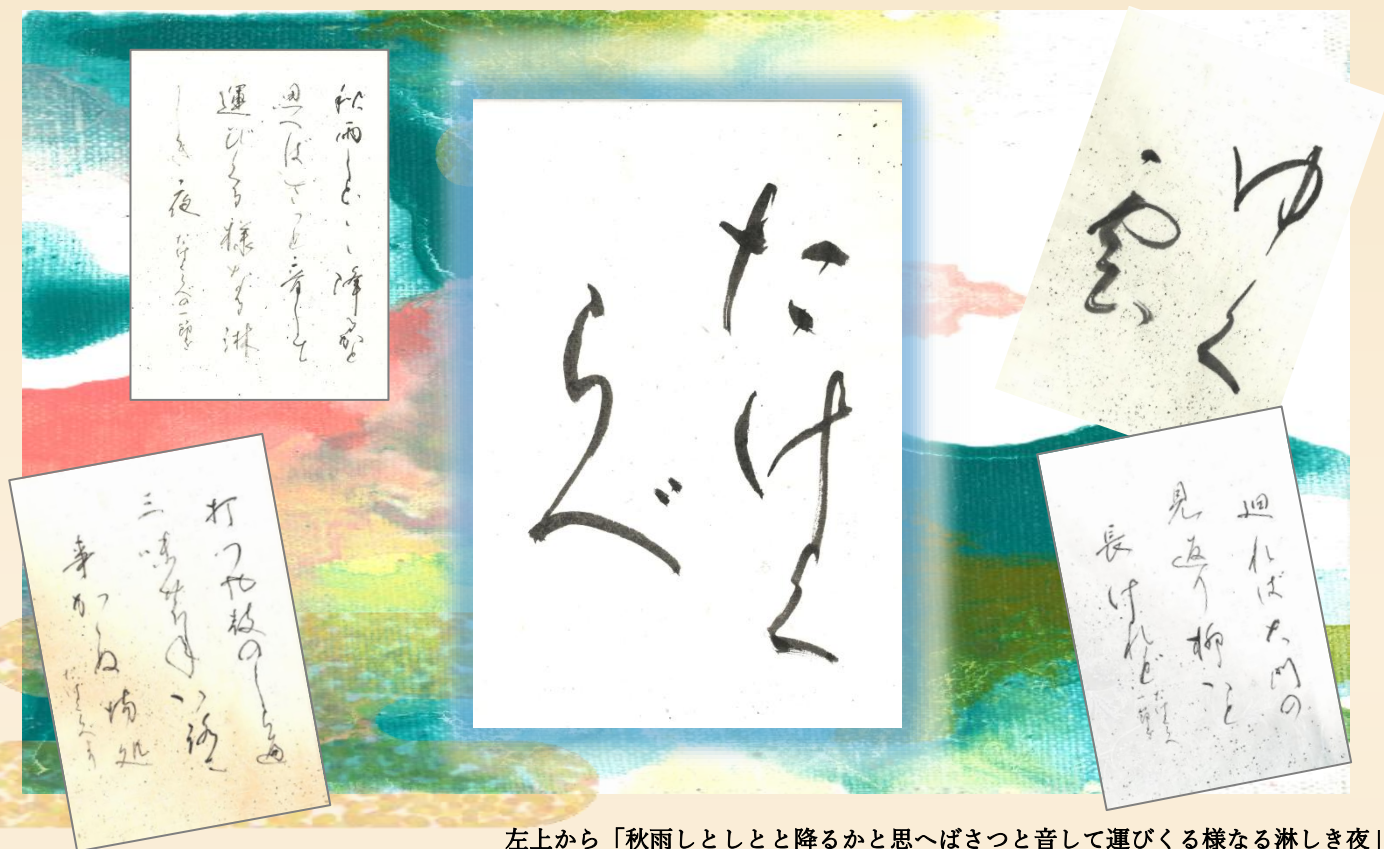


かな文字で書く 樋口一葉



左上から「秋雨しとしと降るかと思へばさつと音して運びくる様な淋しき夜」
「打つや鼓のしらべ、三味の音色に事かかぬ場処」「たけくらべ」「ゆく雲」「廻れ
ば大門の見返り柳いと長けれど」
いずれも天野白汀書

お手本を元に、美しい紙に「かな文字」で一葉の小説の一節を書いてみませんか。
初心者・経験者問わず「書」にチャレンジしてみましょう。

日 時 令和8年10月18日(日) 午前の部 10:00～11:30
午後の部 13:30～15:00

場 所 山梨県立文学館 茶室

講 師 天野白汀 あまのはくてい (甲州市在住) 日展会友・読売書法会理事・山梨県書道会常任理事
やまなし県民文化祭専門委員・玄遠書道会総務・藍筭会総務理事

定 員 小学校3年生以上 各部10名

内 容 ①かな文字の歴史・特徴を学ぼう。
②墨を磨り、かな文字を書いてみよう。

申 込 9月1日(火)から電話(055-235-8080)または文学館
HP イベント欄申込フォームで受け付けます。

・HP 申込の場合は、名前の後に午前・午後をご記入ください。例 樋口いちこ 午後
・定員になり次第締め切ります。キャンセル待ちはございません。

持ち物 ご自身のかな用の筆がある場合はお持ちください。
(館でも筆と硯をご用意いたします。)

HP

